

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第4区分

【発行日】平成19年7月19日(2007.7.19)

【公開番号】特開2001-96718(P2001-96718A)

【公開日】平成13年4月10日(2001.4.10)

【出願番号】特願2000-267431(P2000-267431)

【国際特許分類】

B 4 1 F 21/05 (2006.01)

【F I】

B 4 1 F 21/05

【手続補正書】

【提出日】平成19年6月5日(2007.6.5)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】印刷機であって、駆動ユニットと、回転運動を有し且つ第1及び第2の枚葉紙搬送胴を含む複数の胴と、第1の枚葉紙搬送胴に取り付けられた第1の枚葉紙グリッパと、第2の枚葉紙搬送胴に取り付けられた第2の枚葉紙グリッパとが設けられている形式のものにおいて、

第1及び第2の枚葉紙グリッパが、複数の位相を有し且つ前記胴の回転運動と同期化された周期運動を行い、更に、駆動ユニットにより前記胴と一緒に駆動されるようになっており、

第1及び第2の枚葉紙グリッパが、それぞれねエレメントを有しており、これらのばねエレメントが、前記周期運動の1つの位相で緊縮し且つ別の位相で弛緩され、前記ばねエレメントの内の第1のばねエレメントの緊縮位相が、それぞれ前記ばねエレメントの内の第2のばねエレメントの弛緩位相と同期化されており、

前記の第2の枚葉紙搬送胴が、印刷すべき枚葉紙を第1の枚葉紙搬送胴から受け取るための位置と、印刷済み枚葉紙を引き渡すための位置とを備えており、引渡し位置から受取り位置への途上で、前記の第2の枚葉紙グリッパが、この第2の枚葉紙グリッパに対応配置されたばねエレメントを緊縮又は弛緩させる運動を行うのに対して、前記の第1の枚葉紙グリッパが、この第1の枚葉紙グリッパに対応配置されたばねエレメントを弛緩又は緊縮させる閉鎖運動を行うようになっていることを特徴とする、印刷機。

【請求項2】第1及び第2の枚葉紙グリッパの各周期運動の、胴の回転運動との結合を助けるカム円板が設けられている、請求項1記載の印刷機。

【請求項3】引渡し位置から受取り位置への枚葉紙グリッパの運動距離の長さが、給紙胴の全円周長の少なくとも半分の長さから、給紙胴の全円周長と少なくとも等長になるように、引渡し位置が確定されている、請求項1記載の印刷機。

【請求項4】前置グリッパとして形成された、別の第1の機能エレメントを有する、請求項1記載の印刷機。

【請求項5】、第1の枚葉紙搬送胴が給紙胴であり、第2の枚葉紙搬送胴が印刷胴である、請求項1記載の印刷機。

【請求項6】印刷胴が、給紙胴の円周の所与の数の倍数の円周を有しており、印刷胴と一緒に回転する、前記の所与の数に等しい数の第2の枚葉紙グリッパを有している、請求項5記載の印刷機。

【請求項7】印刷胴の第2の枚葉紙グリッパの運動が、隘路を通過するための閉鎖

運動である、請求項5記載の印刷機。